

# 青森県景気ウォッチャー調査

(平成13年10月期)

調査期間 平成13年10月1日～15日

回答率 99%

	平成13年10月	前期(7月試行調査)比
景気の現状判断DI	22.0	6.8ポイント低下
景気の先行き判断DI	28.8	5.7ポイント低下

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

7月試行調査に比べて、6.8ポイント低下の22.0となり、引き続き50を下回った。

回答別構成比をみると、試行調査に続いて「やや悪くなっている」が最も多かった。また、試行調査に比べ「変わらない」が減少した一方、「悪くなっている」が増加し、「やや悪くなっている」「悪くなっている」を合わせると、全体のおよそ8割を占めた。

判断理由をみると、「客単価の減少」や「商品価格の低下」という声が多かった。

#### ② 分野別の動向

試行調査に比べて、家計、企業において低下した。家計の中では、夏祭り等のイベントが終了したこともあって、特に飲食が大きく低下している。

#### ③ 地区別の動向

試行調査に比べて、全地区で低下しており、特に飲食が大きく落ち込んだ津軽地区の低下が目立った。水準でみると引き続き県南地区が最も低かった。

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

7月試行調査に比べ、5.7ポイント低下の28.8となった。

回答別構成比をみると、試行調査で最も多かった「変わらない」が大きく減少している一方、「やや悪くなっている」が大きく増加し、先行きについての不安感が強まっていることがうかがえる。

判断理由をみると、「米国同時多発テロ」や「県外大手スーパーの経営破たん」により先行きを不安視する声が多かった。

#### ② 分野別の動向

試行調査に比べて、全分野で低下しており、特にテロ事件の影響を懸念する声が多かった家計の低下が目立ち、中でも小売の低下が大きかった。

#### ③ 地区別の動向

試行調査に比べて、全地区で低下しており、特に全分野で落ち込んだ東青地区の低下が目立った。

平成13年11月

青森県企画振興部統計課

## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

#### ①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	28.8	22.0
家計関連	32.7	24.3
小売	30.0	23.3
飲食	31.3	15.9
サービス	37.0	27.8
住宅	29.2	29.2
企業関連	12.5	6.9
雇用関連	28.6	35.7

#### ②回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	3.0	34.0	38.0	25.0
10月	1.0	1.0	19.2	42.4	36.4

### (2) 3か月後の景気の先行き判断

#### ①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	34.5	28.8
家計関連	36.0	29.1
小売	33.3	21.7
飲食	22.9	36.4
サービス	44.4	33.3
住宅	37.5	33.3
企業関連	25.0	23.6
雇用関連	42.9	39.3

#### ②回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	6.0	46.0	28.0	20.0
10月	1.0	3.0	28.3	45.5	22.2

### 3. 地区別の動向

#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

##### <東青地区>

###### ①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	31.7	23.3
家計関連	34.8	25.0
小売	33.3	30.6
飲食	33.3	16.7
サービス	38.9	19.4
住宅	25.0	37.5
企業関連	12.5	6.3
雇用関連	33.3	33.3

###### ②回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	0.0	53.3	20.0	26.7
10月	0.0	0.0	23.3	46.7	30.0

##### <津軽地区>

###### ①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	32.5	23.3
家計関連	37.5	25.0
小売	30.6	30.6
飲食	41.7	8.3
サービス	43.8	25.0
住宅	37.5	25.0
企業関連	12.5	12.5
雇用関連	37.5	37.5

###### ②回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	6.7	30.0	50.0	13.3
10月	0.0	3.3	16.7	50.0	30.0

< 県南地区 >

① D I

分 野	平成13年7月	10月
合計	20.8	18.3
家計関連	23.8	21.4
小売	25.0	11.1
飲食	8.3	16.7
サービス	28.6	35.7
住宅	25.0	25.0
企業関連	14.3	3.6
雇用関連	12.5	37.5

② 回答別構成比 (%)

	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
平成13年7月	0.0	3.3	13.3	46.7	36.7
10月	3.3	0.0	13.3	33.3	50.0

< 下北地区 > (参考)

① D I

分 野	平成13年7月	10月
合計	32.5	25.0
家計関連	36.1	28.1
小売	33.3	16.7
飲食	41.7	25.0
サービス	33.3	41.7
住宅	-	-
企業関連	0.0	0.0
雇用関連	-	-

② 回答別構成比 (%)

	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
平成13年7月	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0
10月	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3

(2) 3か月後の景気の先行き判断

<東青地区>

①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	37.5	28.3
家計関連	38.0	30.4
小売	33.3	25.0
飲食	33.3	50.0
サービス	47.2	27.8
住宅	25.0	37.5
企業関連	25.0	12.5
雇用関連	50.0	33.3

②回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	3.3	56.7	26.7	13.3
10月	0.0	3.3	23.3	56.7	16.7

<津軽地区>

①D I

分野	平成13年7月	10月
合計	40.0	35.8
家計関連	39.8	34.1
小売	33.3	33.3
飲食	41.7	41.7
サービス	43.8	34.4
住宅	50.0	25.0
企業関連	37.5	37.5
雇用関連	50.0	50.0

②回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年7月	0.0	10.0	53.3	23.3	13.3
10月	0.0	3.3	50.0	33.3	13.3

< 県南地区 >

① D I

分 野	平成13年7月	10月
合計	27.5	26.7
家計関連	31.0	27.4
小売	36.1	11.1
飲食	0.0	41.7
サービス	35.7	39.3
住宅	37.5	37.5
企業関連	17.9	21.4
雇用関連	25.0	37.5

② 回答別構成比 (%)

	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
平成13年7月	0.0	3.3	33.3	33.3	30.0
10月	3.3	3.3	16.7	50.0	26.7

< 下北地区 > (参考)

① D I

分 野	平成13年7月	10月
合計	30.0	13.9
家計関連	33.3	15.6
小売	25.0	8.3
飲食	16.7	0.0
サービス	58.3	33.3
住宅	-	-
企業関連	0.0	0.0
雇用関連	-	-

② 回答別構成比 (%)

	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
平成13年7月	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0
10月	0.0	0.0	11.1	33.3	55.6

## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

多数意見	客単価の減少、先行き不安による買い控え、商品価格の低下傾向
その他特徴的な意見	
良くなっている	・りんご、ぶどう、梨が大豊作（観光名所＝県南）
やや良くなっている	・エアコンは苦戦したが、暖房機の販売が前年より大きく伸びており、消費者は必要に応じて買物をしている（家電量販店＝津軽）
変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末に各種イベントを実施し、3か月前に比べて来客数が増加。特に飲食関連にはプラス効果。しかし全体景気は変わらず（商店街＝東青）</li> <li>・休業施設の再オープンにより、業界の競争は激しくなったが、行事、婚礼宴会の総数にはさほど変化はない（都市型ホテル＝津軽）</li> <li>・競争による格差は一段落し、もっと長期的な景気動向が影響すると思う（パチンコ店＝津軽）</li> <li>・街なかを見ると景気が悪そうだが、郊外の大型店舗やスーパー飲食売場を見る限りでは、景気は変わらないように思う（タクシー乗務員＝県南）</li> <li>・宴会部門での客単価に下げ止まり感がある（都市型ホテル＝下北）</li> </ul>
やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区によって違いはあるが、客単価が平均100円位下がっている（コンビニ＝東青）</li> <li>・ねぶた祭りやお盆が終わって、例年どおり消費が少し冷え込んでいる（レストラン＝東青）</li> <li>・行事などが多くなる前は利用が増えるが、その他になると減ってしまう（美容院＝東青）</li> <li>・身近に倒産、夜逃げが出てきた（ガソリンスタンド＝東青）</li> <li>・官民の発注量が伸びない（設計事務所＝東青）</li> <li>・7～9月の売上は若干アップしているが、周りで何百人のリストラ話とか暗い声が多いため（一般小売店＝津軽）</li> <li>・手形事故及び自己破産が目立ってきている（卸売業＝津軽）</li> <li>・業績不振でリストラの対象になった方、休暇をとられ給与をカットされた方がお客様の中に出てきた（住宅建設販売＝津軽）</li> <li>・県外大手スーパー経営破たんによって売掛金の回収が延びた（食料品製造業＝津軽）</li> <li>・建設業及び製造業（特に縫製業）で売上げが下がっている（経営コンサル・会計＝津軽）</li> <li>・モノ余り時代のため、まだ買わなくても辛抱できるとみる消費者が多い（求人広告＝津軽）</li> <li>・新型車が発売されても従来のように長続きしない。商談が成立するまで時間が長くなっている。お客様の品定めが慎重になっている（乗用車販売店＝県南）</li> <li>・競争が激しく民間工事を受注しても利益を確保するのが困難（住宅建設販売＝県南）</li> <li>・印刷情報用紙の国内出荷が8か月連続で前年割れしており、復調の兆しが見えていない（紙・パルプ製造業＝県南）</li> <li>・広告を出しても消費者の反応が鈍いとの広告主の声が増加している。広告のサイズの縮小、回数の減少が続いている（求人広告＝県南）</li> <li>・特売商品でも必要でなければ買わないという傾向にある（一般小売店＝下北）</li> </ul>

<p>悪くなっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗売上、前年比プラスの店舗とマイナスの店舗の数の割合が1：5の状態が続いている（一般小売店＝東青）</li> <li>・夏（7～8月）の売上減少（真夏日が少なかった？）。得意先の自己破産申請、得意先の受取手形の期日延長。先付小切手等が目立つ（卸売業＝東青）</li> <li>・9月は比較的良かったが10月は全然ダメ。客はたくさん入ってるように見えるが、客単価が減少し利益にはなっていない。団体客の予約はあるものの、「3000円で納めてくれ」などの要望が多い（スナック＝東青）</li> <li>・昨年に比べて春は少し良くなったかと思ったが夏から悪く、手の打ちようがない感じだ（観光名所＝東青）</li> <li>・売上げを前年同月比でみると月毎に低下率が高くなっている（食品品製造業＝東青）</li> <li>・小口の改修工事は多いが、建替え新築工事は極めて少ない（建設業＝東青）</li> <li>・行事等でも人出が少なく、消費全額が下がり続けている（レストラン＝津軽）</li> <li>・ここ3か月団体予約が1件もなかった（スナック＝津軽）</li> <li>・会社員の出張が減少している（観光型ホテル・旅館＝津軽）</li> <li>・人の雰囲気にも明るさが見られない（飲料品製造業＝津軽）</li> <li>・デフレ傾向なので思い切った買い方をしていない感じがする（衣料品専門店＝県南）</li> <li>・特に40、50代の男性の客数が減少（一般小売店＝県南）</li> <li>・低価格商品の動きは好調であるが、企業経営としての売上額、利益額は確保できない状態が続いている（卸売業＝県南）</li> <li>・お客はお金を持っていると思うが、これから来年にかけて不安があり、金を使わないのではないかと（レストラン＝県南）</li> <li>・マスコミ等による情報が不安で、飲みでやる元気がない（スナック＝県南）</li> <li>・料金を聞いて断られる数が多くなった（観光型ホテル・旅館＝県南）</li> <li>・人の動きが少ない。活気がない。安いものに目が向いている（美容院＝県南）</li> <li>・一般店への売り込みに対しての断りの言葉は、従来は「売れないから」であったが、最近は「払えないから」というものもある（飲料品製造業＝県南）</li> <li>・客先より製品単価の大幅な値下げ（15～30%）を要求され、それに応えても仕事量が増えない。また、月毎に仕事量が減少していく（電気機械製造業＝県南）</li> <li>・協力業者からの「仕事がない。仕事が欲しい」の営業活動が多くなってきている（建設業＝県南）</li> <li>・経営者の心理が不況を意識し過ぎている（経営コンサル・会計＝県南）</li> </ul>
----------------	--



## (2) 景気の先行き判断理由

<p>多数意見</p>	<p>米国同時多発テロや県外大手スーパーの経営破たんによる影響への懸念 雇用・所得の悪化、リストラ懸念、先行きへの不透明感</p>
<p>その他特徴的な意見</p>	
<p>やや 良くなっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月、スキーシーズンとなるため（観光型ホテル・旅館＝津軽）</li> <li>・秋の収穫時期にも入っているし、秋のさまざまなイベント等もあって外に出る機会が多くなるから（タクシー乗務員＝県南）</li> </ul>
<p>変わらない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい材料がないものの、相当落ち込んでおり、この程度の状況が続くのではと思う（若干の期待感をもって）（都市型ホテル＝東青）</li> <li>・寒さも厳しくなり、来店日数は減少するが、まとめ買いの傾向が出てくるものと思われる（スーパー＝津軽）</li> <li>・商品によっては堅調なので、こんな状態で推移すると思われる（家電量販店＝津軽）</li> <li>・中堅スーパーの売上げが伸び悩んでいる（食料品製造業＝津軽）</li> <li>・今が景気の底で当分底を這うと思うから（電気機械製造業＝津軽）</li> <li>・個人的な感じとしては、景気が悪化して10年近くもたっているのだから、わずか3か月では変化がないと思う（人材派遣＝津軽）</li> <li>・底を打ったような気がするが良くなる要素もない（設計事務所＝県南）</li> <li>・中間貯蔵施設の効果は急には期待出来そうにないと思う（タクシー乗務員＝下北）</li> </ul>
<p>やや 悪くなっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、チラシ持参のお客様が目につくようになった。食品においてもより買物に慎重になってきていると思われる（スーパー＝東青）</li> <li>・借入れするにもかなり慎重になっている（乗用車販売店＝東青）</li> <li>・自宅で白髪染めをしている人が少し増えてきている（美容院＝東青）</li> <li>・求人動向もさらに厳しく、企業の広告活動はもう一段手控になるのではないかと（求人広告＝東青）</li> <li>・ボーナス時期になるが、今年は去年に比べて増えるところが多いとはとても考えにくい（一般小売店＝津軽）</li> <li>・私共の業種よりも、お客様全体の会社等が深刻なため、徐々にその影響が社会に蔓延してくるだろう（パチンコ店＝津軽）</li> <li>・株価の回復望み薄で金融機関経常赤字が見込まれ、逆に不良債権問題の解決どころではなく、中小企業への風当たりが強くなり引き締められて一層倒産が出そう（住宅建設販売＝津軽）</li> <li>・民間発注が益々減少し、企業間での競争激化は必至と思われる。よって、企業内でのリストラ、給与カット、賞与支給廃止等を少しでも緩和したいのだが、できる状況にはならないと思われる（広告・デザイン＝津軽）</li> <li>・家庭消費に大きな変化はないと思うが、給与労働者の忘年会をはじめとする外食市場は低迷すると思われる（食料品製造業＝県南）</li> <li>・現状で景気が最低なので、これ以上の大幅な下落はないと思うが、特殊法人の改革等社会システムの変化・混乱で一時的な悪化はまだあると思う（電気機械製造業＝県南）</li> <li>・通常予定されていた消費活動がキャンセルになったり、中止になったりしている現実がある（広告・デザイン＝県南）</li> <li>・企業の販促活動が低迷、各企業売り上げ減少、利益の減少で販促費を生み出せない状況にある（求人広告＝県南）</li> <li>・企業倒産等の暗いニュースが多いため、安い商品を必要な分だけという傾向にあると思われる。また、価格競争により同業種全体の収益の低下が予想される（一般小売店＝下北）</li> </ul>

<p>悪くなっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新車販売台数の増等、需要が見込みにくい（タクシー乗務員＝東青）</li> <li>・期待できる要因より悪くなる要因だけが予想されることから（食料製造業＝東青）</li> <li>・大量生産、大量消費時代のシステムの考え方から抜け出さなければ一流企業といえど安泰でない時代である（建設業＝東青）</li> <li>・景気の良くなるような社会になるとは思えない（スーパー＝下北）</li>   <li>・お金はあっても今後が不安でお金を使わないようにすると思う。中間貯蔵施設工事もこれからは来るのではないかと思うが、不安一杯だ（一般飲食店＝下北）</li> <li>・狂牛病の影響が売上ダウンに。これから先は見えない（レストラン＝下北）</li> </ul>
----------------	---

## 5. 参 考

### (参考1) 景気の水準判断

#### ①県全体DI

分 野	平成13年7月	10月
合計	14.0	13.1
家計関連	15.7	14.2
小売	11.7	13.3
飲食	12.5	9.1
サービス	21.3	15.7
住宅	16.7	20.8
企業関連	8.3	6.9
雇用関連	10.7	17.9

#### ②地区別DI

地 区	平成13年7月	10月
県全体	14.0	13.1
東青	12.5	13.3
津軽	20.0	15.8
県南	9.2	10.8
下北	15.0	11.1

### (参考2) その他自由回答

- ・解雇、リストラ等の影響か、個人が何かをやりたいと思う事業意欲は感じられる。ただし、資金と意欲との温度差がかなりある（コンビニ＝東青）
- ・県外大手スーパー経営破たんの影響で他の商業施設の倒産予測風評がゲーム的に盛んになっている。消費者の購買心理に悪影響が出ないか心配している（衣料品専門店＝東青）
- ・県外大手スーパー経営破たんで、地元流通業界はショックを受けた。卸売業者の体力低下は小売業者にとってもマイナス（家電量販店＝東青）
- ・自宅に通信販売のカタログが以前より多数送られてくる。商品内容は各種で外国産（特にアジア）が多く、同一商品では安くなっている印象（商店街＝東青）
- ・以前はお客様に電話をかけたりしたことはなかったのに、特にここ2、3年は電話をかけての営業活動に力を入れている。そうすると結構来てくれる（スナック＝東青）
- ・主婦の会話から、デパートへ行く機会が極端に減少しているように思う（都市型ホテル＝東青）
- ・私たちの観光業のバロメーターは十和田湖だ。その十和田湖の観光客が少なくなるばかりで、このままでは大変なことになってしまうような気がする。県をあげて大掛かりなキャラバン、イベント等々何かしなければと考える（観光名所＝東青）
- ・業界全体に言えることだが、9月になると従業員の転職が目立つようになる。これは失業保険制度をにらんだ退職者が多く、雇用安定が難しい業界といえる（美容院＝東青）
- ・食品業界においては、スーパーや量販店の売上げを期待しているが、逆に売上げ減少による経営の危機が感じられてきている（食料品製造業＝東青）
- ・少子高齢化、環境、雪害等、今の社会に望まれる分野に目を注げばビジネスチャンスはあるはず（建設業＝東青）
- ・住宅関連、融雪等は状況が良いのではないかと（広告・デザイン＝東青）
- ・大手派遣企業の県内進出が目立つ。派遣料金も地元企業に比べ高い（人材派遣会社＝東青）
- ・介護保険料、国保料の影響が気掛かり（コンビニ＝津軽）
- ・ブランド商品は比較的堅調に推移しており、いわゆる二極化傾向が見られる（百貨店＝津軽）
- ・海外旅行を見合わせている団体が多い（衣料品専門店＝津軽）

- ・プラズマテレビなど新しい商品が予想以上に高価格にもかかわらず、需要が伸びそうに思える。消費者は、必要な商品にはお金を使うと思う（家電量販店＝津軽）
- ・県外大手スーパーが経営破たんし、次は〇〇〇か？など暗い話題でもちきりだが、自分の気持ちいかんで商売は変わっている（一般小売店＝津軽）
- ・老舗の閉店が目立つ（商店街＝津軽）
- ・主婦の財布のひもがだんだん堅くなってきている（一般飲食＝津軽）
- ・不景気により娯楽、レジャーにお金を極力かけないようにしているため、消費の落ち込みが激しい（観光型ホテル・旅館＝津軽）
- ・テロ事件による農産物の動き（消費、価格）が心配（旅行代理店＝津軽）
- ・来年くらいから、少しずつ良くなるのでは？（美容院＝津軽）
- ・格差が拡大している一方で、いまだに数多くのお客様がパチンコをしておられる。今後のお客様のニーズにどれだけこたえられるかがポイントだ（パチンコ店＝津軽）
- ・誘致企業の倒産、リストラが目立つ。さらに海外への工場移転などによって、失業者が増えている（ガソリンスタンド＝津軽）
- ・新聞、テレビ等メディアの活用が必要かと思う（設計事務所＝津軽）
- ・大手スーパーはどんどん大きくなるが、小さい所は火の車だ。消費者は大手が来るといいかもしれないが、地元のスーパーを保護する事も考えてもらいたい。地元が繁栄することが結局自分たちに利益をもたらすのでは？（食料品製造業＝津軽）
- ・アメリカ経済の動きに大きく左右されると思う（電気機械製造業＝津軽）
- ・視点が、アメリカでのテロ事件とそれに対する報復に向き、景気回復への対策がまた遅れそうな気がする（広告・デザイン＝津軽）
- ・雇用の内容が悪くなっている気がする（正職員→臨時雇用）（人材派遣会社＝津軽）
- ・レジャー系をみると、大型旅行などは我慢しているが、温泉や身近なレジャー施設、ウォーキング、俳句など趣味的な満足感が余計浸透しているが目立つ（求人広告＝津軽）
- ・県外大手スーパー経営破たんにより地元小売店の今後が気になる。商店街活性化への影響がどのように出てくるのか（百貨店＝県南）
- ・同業者同士の過激な競争がある（スーパー＝県南）
- ・中心商店街における店舗が減少している（一般小売店＝県南）
- ・景気の悪化は早く来るが、好景気は地方に届かないうちに消滅するようだ（一般飲食店＝県南）
- ・新幹線開業にて、他県客が多くなるのが望みである（レストラン＝県南）
- ・人員整理で兼務業務が多く休みがとれない。2か月に1日か半日の休み（観光型ホテル・旅館＝県南）
- ・建設・土木業と飲食店の景気だけは良いように私には見えるのだが？観光客は少なくなっている（タクシー乗務員＝県南）
- ・大手中央資本の会社が、新規開店に向け、近隣で工事をしている（パチンコ店＝県南）
- ・土地の売買、建物の新築が少ないように思う（ガソリンスタンド＝県南）
- ・構造改革が進み出し、商工業者は脅えている（設計事務所＝県南）
- ・生活防衛意識がより強くなった感じがする（食料品製造業＝県南）
- ・下がり続けていたビールのディスカウント価格の見直しが卸段階で検討されている（飲料品製造業＝県南）
- ・経済はムードが大切であるが、ムードを変えるには企画（対策）が必要と思う（経営コンサル・会計＝県南）
- ・同業種での倒産や夜逃げなど深刻な問題が最近多い（広告・デザイン＝県南）
- ・求人広告は依然として大幅減、職種も運輸やサービスなどに偏っており、地域の雇用環境は著しく悪い（求人広告＝県南）
- ・離職者が多くなってきており、仕事がないかの問い合わせが多くなった（スーパー＝下北）
- ・消費者はチラシ等セール広告に敏感になっていると思う。セール期の来客数は通常の2、3倍になり、それだけ安い商品、値ごろ商品を求めていると思われる（一般小売店＝下北）
- ・未成年者の働き場がない（レストラン＝下北）
- ・日本の景気も悪いのに、米テロ事件の影響で、生活が成り立つか不安（一般飲食店＝下北）